VISION™
The Ultimate in Car Security

SCIBORG®
AUTO SECURITY SYSTEMS

取扱説明書

ページャーリモコン、アンテナセット

VISION/SCIBORG OPTIONAL PARTS

注 意 !

ページャーリモコンは電波機器です。機能上周囲の電波確認や本体との通信を行う場合があります。このためスマートキーやインテリジェントキーと密着すると電波干渉により純正キーが車両に認識されずエンジン始動ができない場合があります。ページャーリモコンと純正キーは10cm程度離すようにしてください。

Ver. 07Y18

目　次

はじめに II
梱包物をご確認ください II
リモコンの各部名称と注意事項 1
液晶表示アイコンについて 2
ページャーリモコンの設定 3
ページャーに関する注意事項 5
システムをセットする 7
システムを解除する 10
その他の操作 10
警戒中のシステム動作 11
その他の機能 12
取付に関する説明 13
リモコン登録方法 14
取扱に関するQ & A 15
保証・無料修理規定 16

はじめに

この度はVISION／SCIBORGオプションパーツ ページャーリモコン、アンテナセットをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱方法によりご使用いただきますようお願いします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

梱包物をご確認ください

ページャーリモコン ×1

車載送受信アンテナ ×1

アンテナ用ハーネス ×1

TX12X ×1 [TR537D TR535D]

その他の梱包物

ソフトケース	X 1
本説明書	X 1
動作テスト用単四型電池	X 1
送受信アンテナ固定用両面テープ	X 1

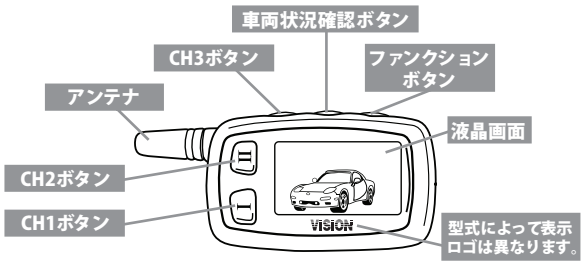
※ 車載送受信アンテナのCALLボタンは機能しません。

ページャーリモコン仕様：

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
リモコン電池	アルカリ単4乾電池 1個
リモコン電池平均寿命	通常使用で約30日～50日
リモコン操作距離	見通し最大1000m
IDコード数	7,378京通り以上
IDコード保護機能	ローリングコード
保護構造	なし

© KIRAMEK, INC.

リモコンの各部名称と注意事項



注 意 !

※ページャーリモコンは振動、衝撃、圧迫に非常にデリケートな製品です。

※　小さな振動や衝撃でも長時間にわたり連続／断続的に加えられた場合には、ページャーリモコンは破損します。

※　振動や衝撃、圧迫により破損した場合の主な症状としては、「アンサーバック（通知）しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。

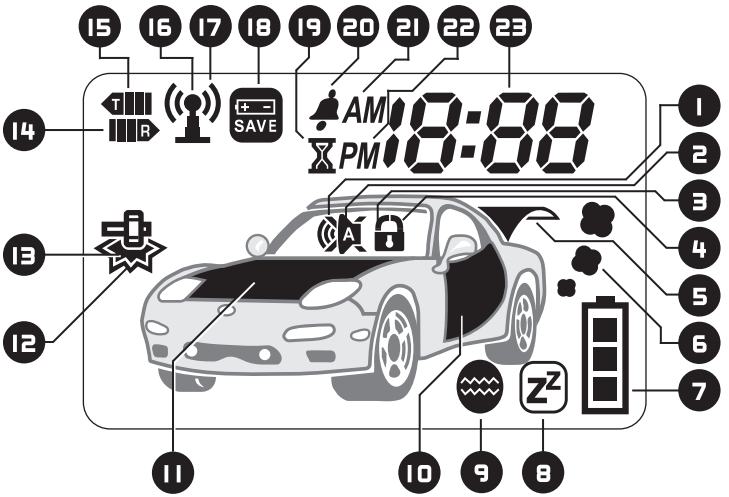
※　アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には、液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、ページャーリモコンの内部回路や部品がその液により腐食し、修理による性能の回復が困難となります。
　ページャーリモコンを長期間使用しない場合には、電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。

※　ページャーリモコンには充電式電池は使用できません。かならずアルカリ乾電池を使用してください。

※　ページャーリモコンは精密機器であるため、ホコリや水分がページャー内部に浸入すると故障の原因となります。ポケットの中等ホコリの多い場所、湿度が高い場所での保管は極力避けるようにしてください。

※　ページャーリモコンは電波機器です。機能上周囲の電波確認や本体との通信を行う場合があります。このため　スマートキーやインテリジェントキーと密着すると電波干渉により純正キーが車両に認識されずエンジン始動ができない場合があります。ページャーリモコンと純正キーは10cm程度離すようにして下さい。

液晶表示アイコンについて



1. 消音
2. メロディモード
3. セット
4. 解除
5. トランク開
（1460/640の場合は＋ドア入力）
6. エンジン始動検知
7. リモコン電池残量
8. バレーモードON
9. バイブモード
10. ドア開
11. ボンネット開
（1480/540でオプション装着時）
12. 強衝撃検知
衝撃センサーバイパス
13. 弱衝撃検知
14. 受信回路スタンバイ
15. 送信回路スタンバイ
16. 受信圏内表示
17. 信号送出表示
18. パワーセーブモード
19. カウントダウンタイマー
20. アラーム時計モード
21. AM表示
22. PM表示
23. 時刻表示

© KIRAMEK, INC.

ページャーリモコンの設定

時計／アラーム／タイマー機能の設定

ページャーリモコンには時計機能があります。電池交換の際には時計を設定し直す必要がありますので、下記方法を参照して時計を設定してください。また、時計にはアラーム機能やカウントダウンタイマー機能があります。

時計／アラーム／タイマーの設定はまず Ⓕ ボタンを長く押し時計設定モードに入ります。その後下記表の操作欄の回数ボタンを短く押すことで各設定を行うことができます。

機能	操作	アイコン表示	時間の設定をするには
時計の設定／「時」調整	Ⓕを長押し	AM 12:00 ②	Ⅲボタンを押すごとに時間の増加またはON設定できます。ボタンを押したままにすることで早く増加できます。 Ⅳボタンを押すごとに時間の減少またはOFF設定できます。ボタンを押したままにすることで早く減少できます。
時計の「分」調整	Ⓕ1回押し	AM 12:00 ③	
アラームの「時」調整	Ⓕ2回押し	AM 12:00 ②	
アラームの「分」調整	Ⓕ3回押し	AM 12:00 ③	
アラームのON/OFF	Ⓕ4回押し	OFF	
タイマーの「時」調整	Ⓕ5回押し	0:00 ②	
タイマーの「分」調整	Ⓕ6回押し	0:00 ③	
タイマーのON/OFF	Ⓕ7回押し	OFF	

簡易カウントダウンタイマー機能

Ⓕ ボタンを押しながら Ⅳ ボタンを短く押すことにより10分、20分、30分、60分、90分、120分のカウントダウンタイマーを簡単に使用できます。使い方は、設定したい時間が表示されるまで Ⓕ ボタンを押しながら Ⅳ ボタンを短く押します。使いたい時間が表示されたら（時間とカウントダウンタイマーを示す砂時計アイコンが表示されます。0:10）そのままにします。この時点でカウントダウンタイマーがスタートします。

※ 時計／アラーム／タイマーの各機能は本システムの機能とは関係ありません。

メロディーモードとバイブモードの切替え

ページャーリモコンには車両からのアンサーバックを音で知らせるメロディーモードと振動によって伝えるバイブモードがあります。

それぞれのモードは Ⓕ ボタンを押しながら Ⅱ ボタンを短く押すたびに入れかわりメロディーモードが選択されるとメロディが流れバイブモードが選択されると一度振動します。

ページャーリモコンの設定（続き）

パワーセーブ機能

ページャーリモコンの受信機能は、システムのセット／解除にかかわらず常にONの状態になっています。システムが解除になっていて長時間アンサーバックを受信する必要がない場合にこの受信機能をOFFすることにより、ページャーの電池寿命を長くすることができます。

この機能を使うには必ずシステムが解除になっている必要があります！

まず F ボタンを押しながら I ボタンを押します。

液晶画面に POWER SAVE アイコンが表示されページャーのパワーセーブモードがONになったことを知らせます。最後にページャーのボタンを押してから2分後にページャーの受信器がOFF状態になり、受信圏内表示アイコン（アンテナアイコン）が消え受信器がOFFになった事を知らせます。この時同時に受信回路スタンバイアイコン も消えます。

ヒント

パワーセーブモード中でもページャーのボタンを押すと一時的に受信機能はON状態になります。POWER SAVE アイコンが表示されている状態でシステムが解除状態であれば、2分以上ページャーのボタン操作をしなければ自動的にページャーの受信機能はOFF状態にもどります。

POWER SAVE アイコンが表示されていてもシステムがセット中は受信機能はOFFになりません。

パワーセーブモードを終了し通常モードに戻すにはもう一度 F ボタンを押しながら I ボタンを押します。

バックライト機能

ページャーリモコンには暗所などで液晶画面を見やすくするためのELバックライトが装備されています。ELバックライトは通常のボタン操作を行うと自動的に点灯するようになっています。

ELバックライトだけを点灯し、他の操作をしたくない場合には F ボタンを一度短く押します。ELバックライトが約5秒間点灯します。

ページャーの電池交換

ページャーの電池残量が少なくなると液晶画面に アイコンが表示されます。 アイコンは通常、ボタン操作を行ったに際に警告音と同時に表示されることがほとんどです。ページャーリモコンはアルカリ単4乾電池を使用します。電池交換の際にはページャーリモコンから電池を抜いた後、一旦 C ボタンを押してから電池を入れてください。
電池を挿入後は時計等の設定を行ってください。

残量表示は と の2段階です。

© KIRAMEK, INC.

ページャーに関する注意事項

ページャーリモコンは精密機器であるため振動や衝撃、圧迫、ほこり、湿気等に非常にデリケートな製品です。本頁ではページャーの取扱い上特に注意すべき点を紹介していますので、良く読んで正しくお使いください。

液漏れについて

アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、ページャーリモコンの内部回路や部品がその液により腐食し、修理による性能の回復が困難となります。

ページャーリモコンを長期間使用しない場合には電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。

液晶画面表示

ページャーの液晶画面は画面を見る際の角度によって本来表示されるべき以外のアイコンが見えることがありますが、異常ではありません。

※ 特に斜め方向から覗き込むと関係ないアイコンが見える場合があります。

電池交換

電池交換を行うとまれに関係ないアイコンが表示されることがあります。これはページャーの電池を抜いても、しばらくのあいだ回路内に残存電圧があるために起こる現象です。このような症状が出た場合には「一旦電池を抜き、電池が入っていない状態でボタン（どのボタンでも良い）を3秒ほど押します」。その後再度電池を入れてください。

通知と操作のタイミング

警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車両システムが送信状態、ページャー側が受信状態となります。このため通知開始数秒間はページャーからの操作はできません。

また、ページャーのボタン操作をしている間（ボタンを押している間）はページャーは送信状態となっていますので、この間は車両側からの通知を受信することができません。セット／解除時のボタン操作を必要以上に長く行うと、車両側からの通知（アンサーバック）を受信できません。この場合「車両側は正しくセットされているのにページャー側は正しく反応しない」という状態になることがあり、これを故障とまちがえることがありますが異常ではありません。再度システムをセット／解除することによってページャーの液晶表示は正しく更新されます。製品機能上通知を2回する場合があります。

通信距離

本製品は車載器とページャー間の通信に電波を使用しているため、製品を使用する周囲の電波環境や設置環境からの影響を強く受けます。特に警告通知や異常発報通知時の車載器からページャーへの通信は影響を受けやすくなります。ページャーのアンテナ部分が金属物に触れていたり、人間が触っていたりすると、普段は問題なく受信できている距離でも受信できなくなることがあります。

また、テレビ塔や携帯電話の中継基地等の強い電波を発している場所の近くでは、ページャーでの受信のみならず操作もできない場合があります。

ページャーに関する注意事項（続き）

取り扱い

ページャーリモコンは振動、衝撃、圧迫に対して非常にデリケートな製品です。小さな振動や衝撃でも長時間にわたり連続／断続的に加えられたり、ほこりの多い場所や湿気の多い場所で長時間使用した場合にはページャーリモコンは破損します。振動や衝撃により破損した場合の主な症状としては「アンサーバック（通知）しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。

保管について

ページャー内部にホコリ等が侵入すると故障の原因となりますので、ポケットの中等のホコリが多い場所には保管しないようにしてください。

付属の電池について

製品に同梱の電池は動作確認用です。製品同梱の電池は寿命が短いことがありますが異常ではありません。単4アルカリ乾電池を新たに購入してご使用ください。

電池寿命について

通常使用で約30日～50日、バイブモードではおよそ1/3程度になります。

ページャー操作クイックガイド

ボタン操作早見表

機能	ボタン操作	
セット／解除（確認チャープ音有）	Ⅰ	短押
サイレントモードによるセット/解除(確認チャープ音無)	Ⅱ	短押
消音セット／解除(確認チャープ音無)	Ⅲ	短押
センサーバイパスモードのセット	Ⅰ&Ⅱ	短押
ドア・ロック／アンロックのみの操作	Ⅱ&Ⅲ	短押
パニック機能	ⅠorⅡorⅢ	長押
車両状況確認		短押
トランクリリース		長押
バックライト	F	短押
バイブモード／メロディモード	F&Ⅱ	短押
パワーセーブモードON／OFF	F&Ⅰ	短押

© KIRAMEK, INC.

システムをセットする

システムセット（警戒）

通常モードのセット

リモコンの Ⅰ ボタンを1回短く押します。

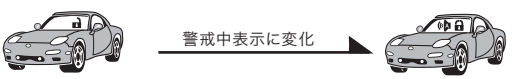
車両側動作

チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。(ハザードフラッシュやライトフラッシュのコントロールが可能な車種では)ハザード／スモールランプが1回点滅し※1、(ドアロックのコントロールが可能な車種では)ドアがロックされ※2、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

※ LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回してもサイレンは鳴動しません。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り(バイブモードでは振動1回)セットされたことを知らせます。



サイレントモードの(リモコンボタンⅡによる)セット

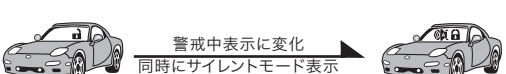
リモコンの Ⅱ ボタンを1回短く押すことにより、サイレントモードでセットすることができます。サイレントモードとは、システム警戒時に異常が検知された場合にサイレンは一切鳴らさず、ハザードの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。

車両側動作

LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し※1、ドアがロックされ※2、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画の面表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時に長音が1回鳴り(バイブモードでは振動2回)サイレントモードでセットされたことを知らせます。また、同時に「サイレントモードアイコン 🔇 」が表示されます。



システムをセットする（続き）

消音の（リモコンボタンⅢによる）セット

リモコンの Ⅲ ボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながらセットすることができます。警戒中の動作は通常セットの場合と同じです。

車両側動作

LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し※1、ドアがロックされ※2、動作中出力（GWA）が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セットされたことを知らせます。

センサーバイパスモードの（リモコンボタンⅠ＋Ⅱ）セット

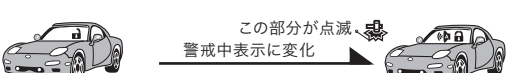
リモコンの Ⅰ と Ⅱ ボタンを同時に押すと、センサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサーやオプションセンサー（別売）を一時的に検知しないようにセットするモードです。それ以外の車両側動作は通常モードと同じです。

車両側動作

チャープ音が2回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し※1、ドアがロックされ※2、動作中出力（GWA）が開始されます。 LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セットされた事を知らせます。この時センサー類がバイパス状態にある事を知らせる アイコンも同時に表示されます。



ヒント

「通常モードセット」と「消音セット」時のページャーでの液晶表示及び動作は同じです。

© KIRAMEK, INC.

システムをセットする（続き）

オートアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

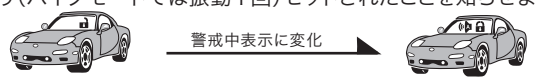
イグニッションOFF後、最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると自動的にセットされます。（ドアロックは行いません）

車両側動作

チャープ音が1回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し※1、動作中出力（GWA）が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。
ドアロックは※2の場合でも作動しません。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セットされたことを知らせます。



オートリアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

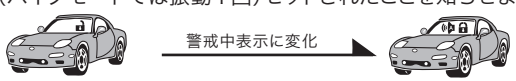
システム解除後60秒以内にドアが開けられない場合には、自動的に再セットされます。誤って解除しても自動的に再セットできる便利な機能です。

車両側動作

チャープ音が1回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し※1、ドアがロックされ※2、動作中出力（GWA）が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セットされたことを知らせます。



※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できない場合があります。
※ 車種により60秒以内にリロック機能が作動する場合はリロックに合わせてセットされ、オートリアーム機能が利用できない場合があります。

ヒント

○ どの方法でセットしても、LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回しても発報はしません。
○ オートアーム、オートリアーム、純正リモコンによるセットは最後にシステムを解除した際に使用したボタンでのモード（通常またはサイレント）となります。

システムを解除する

通常の(リモコンボタンIによる)解除

リモコンの Ⅰ ボタンを1回短く押します。

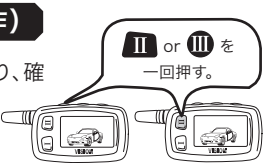
車両側動作

チャープ音が3回発せられLEDが消灯し、ハザードが3回点滅します※1。ドアがアンロックされ※2、動作中出力(GWA)が停止します。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(バイブモードでは振動2回)解除されたことを知らせます。

消音解除(リモコンボタンIIまたはIIIによる操作)



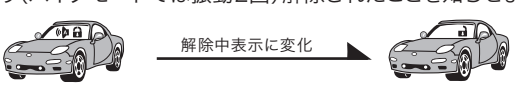
リモコンの Ⅱ またはⅢボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながら解除することができます。

車両側動作

LEDが消灯し、ハザードが3回点滅します※1。ドアがアンロックされ※2、動作中出力(GWA)が停止します。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(バイブモードでは振動2回)解除されたことを知らせます。



その他の操作

ダイレクトドアロックのボタン操作

※ 車種により利用できません

Ⅱ & Ⅲ を同時に短く押すことでシステムをセットせずにドア・ロック／アンロックのみをコントロールすることができます。

※ 1460および640では利用できません。

© KIRAMEK, INC.

警戒中のシステム動作

ドア検知

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両ドア部分の点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動）、車両ドアに異常が発生したことを知らせます。

セキュリティ警戒中のエンジン始動検知

ページャーリモコン側動作

いずれのモードでも警戒中にエンジンがかけられると、液晶画面上の車両後部タイア後方に「エンジン始動アイコン」が表示されます。

※　プロテクトモードではアイコン表示と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動）、エンジンが不正に始動されたことを知らせます。

※　スターター対応モードでは、エンジン始動時と停止時にメロディが流れます。

車両状況確認機能

ページャーリモコンの ボタンを短く一度押すことによりその時点での車両状況（セクターの状況）を確認することができます。（ヒント参照）

ハイセキュリティサイレンストップ

車両で異常が発生し異常発報またはパニックによる発報をしている場合、ページャーのボタンを1回押すと、まずページャーでのサイレンが停止します。その後更にもう一度ページャーのボタンを押すと車両側での異常発報が停止し、警戒は継続します。解除したい場合には異常発報していない状態で Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、のいずれかのボタンをもう一度押す必要があります。

センサー検知

シングルステージ：（弱衝撃）

ページャーリモコン側動作

液晶画面上のハンマーアイコンの点滅と同時に警告音が5回鳴り（バイブモードでは振動5回）、車両に弱い振動が加えられたことを知らせます。

デュアルステージ：（強衝撃）

ページャーリモコン側動作

液晶画面上のハンマーアイコンの点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動）、車両に強い振動が加えられたことを知らせます。

※付属の衝撃センサーとオプションセンサーの区別はできません。

その他の機能

通信圏表示機能

ページャーリモコンのボタン操作を行うと アイコンが液晶画面に表示され、ページャーと車両が通信圏内にある事を示します。システムをセットした後車両からはなれ、その場所が通信圏内にあるかどうかをチェックするには ボタンを一度短く押します。通信圏内であれば現在の車両状況とともに アイコンが表示されます。 アイコン表示が消えてしまう場合は通信圏外であることを示しています。

パニックサイレン機能

リモコンの Ⅰ ボタンまたは Ⅲ ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的に発報させることができます。このパニックサイレン機能による発報は30秒間継続します。発報中は、ハザードフラッシュとLEDの急点滅も行われます。

車両側動作

システムは異常発報後にセット状態となります。

※ ボタン Ⅱ による操作の場合は発報せず、ハザード点滅のみとなります。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示はボタンを押しているあいだアイコンが表示されたままとなります。車両側が異常発報を開始してからボタンを離すとページャー側でもサイレンが鳴ります（バイブモードでは振動）。

トランクリリース機能　※車種により利用できません。

リモコンのトランクマークボタンを３秒以上長押しすることでトランクを開けることができます。その際セキュリティ機能は一時スリープします。

ヒント

※（文中の注釈）　※1、※2の動作はコントロール可能な車両に限ります。

ページャーリモコンで操作する場合にはセット、解除、オートアーム、オートリアームは最後にシステムを操作した際に使用したボタンでのモード（通常またはサイレント）でセットされます。

純正リモコンで操作した後ページャーリモコンで操作すると、ページャーリモコンの表示やメロディと動作が合わないことがあります。

センサーバイパス時とバレーモード時のページャーリモコンの表示は確認ボタン を押すと消えますが、それぞれのモードは継続していますのでご注意ください。

純正キーレス、スマートキー等でシステムをセット、ページャーリモコン操作でシステムを解除した場合　車両構造上ドアアンロックは連動しません。

© KIRAMEK, INC.

取付に関する説明

付属の接続ハーネスを使って下図に示すコネクターと車載送受信アンテナを接続してください。

2460ではこちら。

直射日光の当たらない車内のプラスチック部分に両面テープ等で貼付けてください。
（金属に触れるような場所は避けてください。操作距離が短くなる等原因となります。）

1460および1480ではこちら。

⚠ 注意！

※　送受信アンテナは絶対に直射日光のあたる場所には設置しないでください。長時間直射日光に当てると通信できなくなる等故障の原因となります。絶対に直射日光のあたる場所（ダッシュボード上やガラス部）には設置しないでください。
※　送受信アンテナは最低30cm以上セキュリティのセンサー類から離して設置してください。また、送受信アンテナ用ハーネスをセンサーの近くに設置したり、センサーハーネスと一緒に束ねるとセンサーが誤動作する場合があります。
※　送受信アンテナは次の様な場所へも絶対に設置しないでください。
・ピラー内　　・ルームミラー（バックミラー）　　・天井
※ アンテナハーネスの挟み込みに注意してください。

※ 純正リモコンでロック（セット）した後にページャーリモコンで操作すると、システムは解除されますがアンロックは動作しません。

リモコン登録方法(1460/640) & (1480/540Ver.T35～)

セキュリティ本体にはリモコンを任意で最大4個まで登録可能です。リモコンの登録は下記手順にしたがって行うことができます。

手順	作業内容
1	イグニッション・キーをONポジションへ動かします。
2	本体LED一体プログラムスイッチを6秒間押し続けます。
	チャープ音が3回鳴ります。
3	❶ボタンを押します。
	チャープ音が1回鳴ります。
4	さらに別のリモコンを登録したい場合は、登録したいリモコンの❶ボタンを押します。
	チャープ音が2回鳴ります。 （3個目は3回、4個目は4回チャープ音が鳴ります。）
5	イグニッション・キーをOFFポジションへ戻します。
	すぐにLEDが6秒間点灯し、その後消灯します。 その後、登録されたリセットコード数だけLEDが点滅します。（初期値は6回）
	登録作業終了です。

リモコン登録方法(1480/540 ～Ver.T34)

セキュリティ本体にはリモコンを任意で最大4個まで登録可能です。リモコンの登録は下記手順にしたがって行うことができます。

手順	作業内容
1	イグニッション・キーをONポジションへ動かします。
2	本体ＬＥＤ一体プログラムスイッチを6秒間押し続けます。
	チャープ音が3回鳴ります。
3	Ⅲボタンと5ボタンを同時に押します。
	チャープ音が1回鳴ります。
4	さらに別のリモコンを登録したい場合は、登録したいリモコンのⅢボタンと5ボタンを同時に押します。
	チャープ音が2回鳴ります。 （3個目は3回、4個目は4回チャープ音が鳴ります。）
5	イグニッション・キーをＯＦＦポジションへ戻します。
	すぐにＬＥＤが6秒間点灯し、その後消灯します。 その後、登録されたリセットコード数だけＬＥＤが点滅します。（初期値は6回）
	登録作業終了です。

※各操作間で6秒以上何も操作をしない状態が続くと登録モードは終了します。

※作業に失敗した場合は、イグニッション・キーをＯＦＦポジションへ戻し上記手順5以降のＬＥＤ点滅を確認した後、再度手順を1から繰返してください。

⚠ 注意！

オプションのページャーリモコンが登録された状態で緊急リセットコードの変更を行うと、登録されているページャーリモコンのIDは一旦消去されます。
ページャーリモコンは緊急リセットコードを変更した後に登録してください。

⚠ 注意！

複数のリモコンを登録する場合は1回の登録モード中に登録したいすべてのリモコンのボタンを順に押してください。新しいリモコンを登録すると古いリモコンのIDはすべて抹消されますので、現在お使いのリモコンも再度登録する必要があります。

⚠ 注意！

複数のページャーリモコンをご利用される場合、本システムは一番最後に操作されたリモコンへアンサーバックを行うようプログラムされています。

© KIRAMEK, INC.

取扱に関するQ & A

Q1 :**車を点検に出したらリモコンがきかなくなった！**

A1 :　車両点検作業の際にバッテリーをはずす等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーをはずす前に必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行ってください。
　☞システムセット中にきかなくなった場合には、純正キーレス操作もしくは強制解除操作でシステムを解除します。
本書１４頁を参照してリモコンの再登録を行ってください。

Q2 :**リモコンを紛失して不正利用されるのが不安！**

A2 :☞本製品ではリモコン登録の方法として、よりセキュリティ性の高いオールリセット方式を採用しています。この方式ではリモコン登録時に登録されているすべてのリモコンIDが消去され、新たに登録されたリモコンのみが利用可能となります。
　本書１４頁を参照してリモコンの再登録を行ってください。紛失したリモコンでは操作できなくなります。

Q3 :**純正キーが車両に認識されずエンジン始動やドアの開閉ができない時がある。**

A3 :ページャーリモコンは機能上周囲の電波確認や本体との通信を行う場合があります。このため　スマートキーやインテリジェントキーと密着すると電波干渉により純正キーが車両に認識されない場合があります。
ページャーリモコンと純正キーは10ｃｍ程度離すようにしてください。

Q4 :**システムはセットされているのに何も反応しない！**

A4 :　システムセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか？
Ⅱ を使用するとサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じることがあります。（本説明書７ページ「サイレントモードのセット」をご参照ください。）

Q5 :**異常発報時にリモコン操作ができない！**

A5 :　警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車載器が送信状態、ページャー側が受信状態となるためにページャーリモコンからの操作はできません。発報から６～１０秒たってから、リモコン操作を行ってください。

Q6 :**ページャーの表示がおかしい！**

A6 :　ページャーリモコンに使用している電池の電圧が下がりすぎてしまったり（電池交換アイコンがついているにもかかわらず使い続けた）、ページャーを落とす等して衝撃を加えた際に電池が一瞬電池ホルダーからはなれたり、電池ホルダーに酸化皮膜ができる等してページャー内の電源電圧が低くなりすぎた場合には、液晶表示がおかしくなる事があります。このような場合にはページャーリモコンから一度電池を抜き、 ボタンを押してから電池を入れてください。

《保証・無料修理規定》

1:　本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2:　取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、お買い上げの販売店経由にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。

3:　保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、製品と本書をご持参の上お買い上げの販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付してください。

4:　ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。

5:　本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取りはずし、取付費用は、お客様のご負担となります。

6:　保証期間内でも次の場合は有償となります。
●リモコン電池、ソフトケース等の消耗品の交換、及び電池の液漏れによる故障、損傷
●製品内への水・油分等の浸入による故障及び損傷
●使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
●不当な修理、改造による故障及び損傷
●お買い上げ後の落下、圧迫等による故障、液晶割れ及び損傷
●火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
●普通乗用車以外に使用された場合の故障及び損傷
●本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
●本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合
●当社指定の取付認定店以外で購入、取付された製品

7:本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

8:本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

⚠ 注意！

※　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※　保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。
※　各記入欄に必要事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにお買上げの販売店にて※お申し付けください。
※　製品同梱の適合証明書は車検時の審査通過を保証するものではありません。
　本製品の動作の有無に関わらず盗難等の被害については当社では一切の責任を負いかねます。

© KIRAMEK, INC.